

2 / 8

友引 日

旬のもの 春菊(しゅんぎく)

キク科。春菊は11月から3月に旬を迎える冬の食卓には欠かせない野菜です。中国では「どう蒿」と呼ばれ、肝機能を増強し、腸内の老廃物質を排出する漢方薬として使われています。

春に黄色い花をつけ、菊に似た独特の香りを持つことから、春菊の名前がついたといわれています。カロチン、ビタミンB、Cが多く含まれ、たんを切ったり胃腸を整える効果があります。

テマークの日

1887(明治20)年に、逓信省(のちの郵政省、現在の日本郵政グループ)が「T」を本省全般の徽章とすると告示した日です。しかし、後日「T」は万国共通の郵便料金不足の記号として使用されていることが分かり、「テイシンショウ」の「テ」を図案化した「ㄒ」に訂正されました。

針供養

裁縫を1日慎んで縫い針を休め、折れた針を供養する日として古くから伝わる行事。古い針を豆腐やこんにゃくにやくに刺して川や海に流したり、紙に包んで神社に収めることで、針仕事の上達を祈願します。富山県や石川県では針歳暮とも呼ばれ、饅頭や餡餅を食べたり知人に贈ります。

2 / 9

先負 月

旬のもの 河豚(ふぐ)

フグ科の総称。卵巣や肝臓などにテトロドトキシンという猛毒をもつものが多く、外敵に会うと大きく腹を膨らませ威嚇させるものもいます。

フグのはしりは11月頃ですが、2月あたりは脂がのって美味です。下関南風泊市場に集まるトラフグは味覚の王者とされています。漢字で「河豚」と書く由来は、中国では揚子江や黄河など、海よりも河に生息する河豚が親しまれていたことから「河」が使われ、膨れた姿が豚に似ていることと、釣り上げた時の音が豚の鳴き声に似ていることから、「豚」が使われるようになったとされます。

ふくの日

「ふ(2)く(9)」の語呂合わせから、下関ふく連盟が制定しました。下関では、河豚(ふぐ)は「ふく」と発音し、「福」と同じ音であることから縁起の良い魚とされています。毎年、この日に下関市内の恵比寿神社で、豊漁と航海安全を祈願する「ふくの日祈願祭」が行われています。

治虫忌

『鉄腕アトム』『ブラックジャック』など、後世につながる数々の名作を生みだし、漫画の神様として今なお多くのファンに愛される漫画家・手塚治虫が、1989(平成元)年のこの日に亡くなりました。漫画本専門古書店『まんだらけ』により制定され、「漫画の日」とも呼ばれています。